



平成 30 年 1 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社セイコー
代表者名 代表取締役社長 飯塚 周一
(コード番号2872 東証第2部)
問合せ先 取締役経営企画室長 田辺 俊秋
TEL 025-386-9988

平成 30 年 2 月期通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成30年1月12日付で会社法第370条及び当社定款第25条（取締役会の書面決議）に基づき、以下のとおり、最近の業績の動向を踏まえ、平成29年10月12日に公表いたしました平成30年2月期（平成29年3月1日～平成30年2月28日）の業績予想及び平成29年4月14日に公表いたしました配当予想を修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 2 月期通期業績予想の修正（平成 29 年 3 月 1 日～平成 30 年 2 月 28 日）

(1) 業績予想修正の内容

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想 (A)	3,800	20	42	32	78.13
今回修正予想 (B)	3,650	△40	△10	40	97.67
増減額 (B - A)	△150	△60	△52	8	
増減率 (%)	△3.9	—	—	25.0	
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 2 月期)	3,821	△2	23	11	27.10

(注) 平成 29 年 9 月 1 日付で普通株式 10 株を 1 株の割合で株式併合を行っております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1 株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 業績予想修正の理由

平成 29 年 10 月 12 日に公表いたしました「第 2 四半期業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」において通期業績予想を下方修正いたしました。第 3 四半期会計期間において新潟工場の設備老朽化による修繕が発生し、それに伴う操業の一部停止等により稼働率が減少した結果、営業利益及び経常利益が予想より下回り、第 4 四半期においても厳しい状況が続く見込みであることから、通期業績予想の再修正を行うものであります。

また、当期純利益に関しては、平成 29 年 12 月 12 日に公表いたしました「投資有価証券売却益（特別利益）の計上に関するお知らせ」で記載のとおり、第 4 四半期において投資有価証券売却益 63 百万円を特別利益に計上いたしますが、上記の理由により 40 百万円となる見込みであります。

2. 配当予想の修正について

(1) 配当予想修正の内容

	年間配当金(円)		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回予想 (平成29年4月14日発表)		50円00銭	50円00銭
今回修正予想		30円00銭	30円00銭
当期実績	—		
前期実績 (平成29年2月期)	—	4円00銭 (普通配当3円00銭) (記念配当1円00銭)	4円00銭 (普通配当3円00銭) (記念配当1円00銭)

(注) 当社は、平成29年9月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っており、平成30年2月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。

(2) 配当予想修正の理由

当社は、将来の事業拡大と企業体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続して実施し、内部留保資金につきましては、設備投資及び情報化投資等に有効活用していくことを基本方針としております。業績予想の修正でご説明いたしましたとおり、平成30年2月期の業績は厳しい状況であり、株主還元の継続性や中長期的な成長への投資等を勘案し、誠に遺憾ではございますが、期末配当予想を50円00銭から30円00銭に修正させていただきます。

※上記の予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成されており、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上